

奥州市電算システム運用方針について

奥州市の電算システムは、運用負荷及び運用コストを軽減するため、原則として（一社）胆江農業管理センター施設内にすべての業務システムのサーバ等を集中管理する処理方式を採用している。また、大量帳票出力など職員に負担がかかる処理についても同センター内で処理を行う方式としている。

このため、市の情報管理部門の業務は、システム全般の管理と各担当課からの要望等について、（一社）胆江農業管理センター又はシステムベンダとの連絡調整、システム稼動状況や端末使用状況の把握管理、今後の情報化施策の推進等の情報企画（政策）・管理業務を主としており、原則としてシステムのメンテナンス作業等は、行っていない。

奥州市における電算システムについては、運用・保守、ネットワークの運営・監視等の効率化を図る観点から、（一社）胆江農業管理センターを市のアウトソーシングセンターとして位置付け、運用を行っている。

市が（一社）胆江農業管理センターにシステム運用・保守業務を委託する理由

- ① 電算システムの運用に関わる作業負荷が増大し、今後の電子自治体対応時には24時間対応が可能なこと、高度な専門知識及び技術が求められることから、職員の通常業務との両立は困難な状況であること。
- ② 電算システムに障害が生じた場合、迅速かつ的確な対応が求められることから、地域内にサービス拠点を有する必要があること。

【奥州市の電算システム運用体制図】

